



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドウ  
コード番号 3032 URL <http://www.golfdou.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 大井 康生

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,187	△2.3	23	7.3	18	△15.8	8	△3.4
26年3月期第2四半期	2,238	△5.3	21	△81.3	21	△81.1	9	△88.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 16百万円 (△23.7%) 26年3月期第2四半期 21百万円 (△70.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	7.07	—
26年3月期第2四半期	7.32	—

当社は、平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	2,443	476	19.1	384.26
26年3月期	2,398	430	17.9	346.98

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 467百万円 26年3月期 430百万円

当社は、平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	4.3	65	—	31	—	24.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	1,311,300 株	26年3月期	1,311,300 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	70,900 株	26年3月期	70,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	1,240,400 株	26年3月期2Q	1,240,400 株

当社は、平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、経済政策による急激な円安傾向から当社グループの業績に与える影響など現段階において不確定要素が多く、合理的な算定が困難であることから、第2四半期の業績予想の公表を差し控えていただいております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式市場が堅調に推移したものの、消費税増税や円安の影響懸念もあり、政府の成長戦略への期待が盛り上がり、欧州でも景気の停滞を背景にデフレ懸念が強まりました。加えてウクライナや中東、香港情勢等が地政学リスクとして意識され、全体としては不安定な状況が続きました。

また、ゴルフ業界におきましても、消費税増税による生活防衛意識の高まりから、消費に対する節約志向が一段と強くなっており、売上の回復はままならない状況です。しかしながら、第2四半期後半になり、9月以降に発売される新製品に合わせてマークダウン品の動きや予約が先行し、前年並みの売上を獲得できるまでには回復してまいりました。なお、ゴルフ場／練習場の利用者数は、前年同月比7月98.6%/97.5%、8月100.2%/103.5%（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」）と堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましても直営事業にて消費税増税に対して販促活動などさまざまな施策を計画、実行することに引き続き努めてまいりましたが、購入客数の減少など収益を圧迫する状況が続きました。しかしながら8月中旬以降、秋からの新製品を見越したマークダウンや新製品の発表に伴い、中古クラブの売上が回復してまいりました。営業販売事業におきましては、更なる円安局面では直輸入商材への発注は減少し、国内特価商材の受注獲得に努めてまいりました。また、フランチャイズ事業では、平成26年7月に「名東よもぎ台店」が閉店し、当第2四半期連結累計期間におきまして、1店舗出店、2店舗閉店となりました。従いまして、平成26年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計74店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が21億87百万円（前第2四半期連結累計期間22億38百万円）、営業利益が23百万円（同営業利益21百万円）、四半期純利益は8百万円（同四半期純利益9百万円）となりました。

ゴルフ・ドゥ!店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

月	H26年 7月	H26年 8月	H26年 9月	第2四半期合計 (7～9月)	第2四半期累計 (4～9月)
チェーン全店	103.2%	105.1%	105.0%	104.4%	102.2%
チェーン既存店	98.1%	100.4%	100.5%	99.6%	96.2%
直営全店	106.0%	105.1%	112.0%	107.7%	103.1%
直営既存店	98.6%	98.3%	102.5%	99.8%	95.9%
F C全店	101.8%	105.1%	101.5%	102.8%	101.7%
F C既存店	97.8%	101.5%	99.5%	99.5%	96.4%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

## (直営事業)

当第2四半期連結累計期間において、当第1四半期連結会計期間は消費税増税による消費減退の影響から購入客数の減少など収益を圧迫する厳しい状況が続きましたが、当第2四半期連結会計期間より、セールなど割引、廉価企画とは一線を画した企画へと販促活動の内容を変更したことにより、粗利益率が当第1四半期連結会計期間と比べ2ポイント余り改善いたしました。その結果、直営事業の売上高は14億73百万円（前第2四半期連結累計期間14億31百万円）となりました。また、セグメント利益は84百万円（同73百万円）となりました。

## (フランチャイズ事業)

当第2四半期連結累計期間において、特に西日本エリアでは消費税増税による影響とともに大型台風やゲリラ豪雨による影響を受けましたが、特価商材や備品をF C加盟店に販売することで前年並みの売上を確保いたしました。その結果、フランチャイズ事業の売上高は1億89百万円（前第2四半期連結累計期間1億89百万円）となりました。また、セグメント利益は78百万円（同78百万円）となりました。

## (営業販売事業)

当第2四半期連結累計期間において、更なる円安の影響により輸入商材に対する受注が減少しており、国内商材による商品提案を強化してまいりましたが、むしろ国内以上に海外子会社にて厳しい経営環境が続きました。その結果、営業販売事業の売上高は5億24百万円（前第2四半期連結累計期間6億17百万円）となりました。また、セグメント損失は4百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。

流動資産は、17億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円の減少となりました。これは主に売掛金が15百万円減少したことによるものです。

固定資産は、6億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円の増加となりました。これは主に長期貸付金91百万円計上によるものです。

(負債)

流動負債は、11億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。これは主に短期借入金が21百万円増加したこと、1年以内返済予定の長期借入金が14百万円増加したこと、買掛金が14百万円増加したこと、そして未払法人税等が4百万円増加したことによるものです。

固定負債は、8億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。これは主に長期借入金が57百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が28百万円ほど改善したこと、新株予約権9百万円計上、為替換算調整勘定7百万円計上によるものです。

この結果、自己資本比率は19.1%（前連結会計年度末は17.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	416,617	524,262
受取手形及び売掛金	224,924	209,578
商品	1,046,707	951,256
繰延税金資産	28,301	23,737
その他	57,863	47,584
貸倒引当金	△1,179	△1,172
流動資産合計	1,773,236	1,755,245
固定資産		
有形固定資産	224,663	207,971
無形固定資産	47,173	46,913
投資その他の資産		
投資有価証券	19,611	19,559
敷金及び保証金	159,692	155,982
建設協力金	130,718	125,507
繰延税金資産	3,286	3,494
その他	42,205	131,259
貸倒引当金	△2,167	△2,167
投資その他の資産合計	353,346	433,635
固定資産合計	625,182	688,520
資産合計	2,398,419	2,443,766
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	224,273	238,331
短期借入金	378,477	400,000
1年内返済予定の長期借入金	276,276	290,280
未払法人税等	7,052	11,084
賞与引当金	21,001	22,563
ポイント引当金	24,385	27,645
その他	144,768	141,554
流動負債合計	1,076,235	1,131,459
固定負債		
長期借入金	679,806	622,663
繰延税金負債	7,619	7,619
退職給付に係る負債	123,623	128,306
資産除去債務	34,942	35,276
その他	45,800	41,800
固定負債合計	891,791	835,665
負債合計	1,968,026	1,967,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,320	501,320
資本剰余金	178,372	178,372
利益剰余金	△256,107	△227,120
自己株式	△23,625	△23,625
株主資本合計	399,960	428,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,606	2,554
為替換算調整勘定	27,826	35,568
その他の包括利益累計額合計	30,432	38,123
新株予約権	—	9,570
純資産合計	430,392	476,641
負債純資産合計	2,398,419	2,443,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,238,704	2,187,150
売上原価	1,476,655	1,386,799
売上総利益	762,048	800,350
販売費及び一般管理費	740,054	776,748
営業利益	21,994	23,602
営業外収益		
受取利息	1,628	2,578
受取手数料	1,579	1,650
為替差益	3,009	—
その他	192	780
営業外収益合計	6,410	5,010
営業外費用		
支払利息	6,313	7,340
為替差損	—	2,489
その他	154	313
営業外費用合計	6,468	10,143
経常利益	21,936	18,469
特別利益		
子会社株式売却益	—	3,600
特別利益合計	—	3,600
税金等調整前四半期純利益	21,936	22,069
法人税、住民税及び事業税	10,905	8,730
法人税等調整額	1,950	4,564
法人税等合計	12,856	13,294
少数株主損益調整前四半期純利益	9,080	8,774
四半期純利益	9,080	8,774



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,080	8,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,385	△51
為替換算調整勘定	7,121	7,742
その他の包括利益合計	12,507	7,690
四半期包括利益	21,587	16,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,587	16,465

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	21,936	22,069
減価償却費	22,751	24,927
株式報酬費用	—	9,570
長期前払費用償却額	942	1,056
のれん償却額	8,738	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△207	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,979	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,676	1,401
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,260	3,259
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	4,173
受取利息及び受取配当金	△1,628	△2,578
子会社株式売却損益(△は益)	—	△3,600
支払利息	6,924	7,340
売上債権の増減額(△は増加)	△24,917	20,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,166	59,515
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,725	11,340
未払金の増減額(△は減少)	△3,761	7,643
未払費用の増減額(△は減少)	△465	△336
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,044	15,431
その他	5,213	13,532
小計	18,928	194,894
利息及び配当金の受取額	1,610	2,544
利息の支払額	△7,327	△7,284
法人税等の支払額	△17,777	△7,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,565	182,684
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,512	△21,794
無形固定資産の取得による支出	△8,312	△11,476
敷金及び保証金の差入による支出	△4,891	△348
敷金及び保証金の回収による収入	4,087	4,082
貸付金の回収による収入	107	7
建設協力金の回収による収入	5,106	5,210
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△29,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,414	△53,722
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	67,426	21,514
長期借入れによる収入	160,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△137,071	△143,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,355	△21,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,361	306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,737	107,644
現金及び現金同等物の期首残高	253,818	416,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	322,555	524,262

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,431,896	189,255	617,552	2,238,704	—	2,238,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,431,896	189,255	617,552	2,238,704	—	2,238,704
セグメント利益又は損失(△)	73,276	78,835	571	152,683	△130,688	21,994

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却費 8,738千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,473,184	189,075	524,868	2,187,128	21	—	2,187,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	503	△503	—
計	1,473,184	189,075	524,868	2,187,128	524	△503	2,187,150
セグメント利益又は損失(△)	84,042	78,941	△4,991	157,991	△9,422	△124,967	23,602

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。